

口中鏡の
甘哉名利研

207
470

口中
不堂鏡

耳哉名利研

京傳作
言以原
合三冊

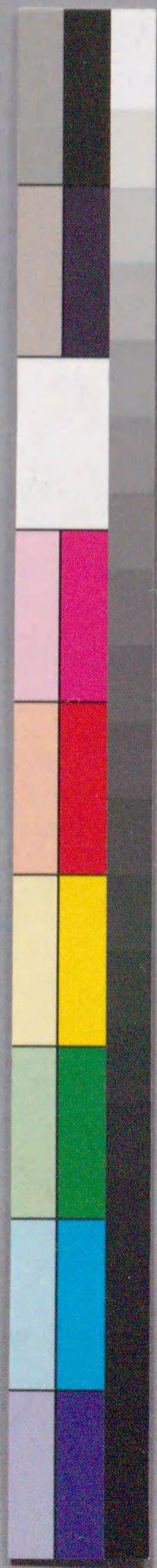
207
470

寛政十二

予頃讀來舶之書諧鐸一驢換取
乞巧結翫菓作一禪史託事ヲ箇
者示有財惡鬼虛名羅刹若子
活地獄以戒穢蒙ヲ成在几邊
矣家ヲ京山園曰兄者是
我邦之貴漢也一笑一遂授二僊

鶴堂

山東京傳題



8 9 30 1 2 3 4 5 6 7 8 9 40 1 2 3 4 5 6 7 8 9 50 60

かくて十日めのあてに
多んまうあつちまひ
らうちらにつけてのこ
まうくまんらがねの
のうーがくくまひ
まらひまひのうの
のたれをまねい
してちんことを
はごまふくれこころれ
ともまうあんげに
たれ古人のまひあつち
びんたいとあつちまひ
一うまひとらびた
ととくろくまひ

かほまの目
一もくろの鼻
いのまの口



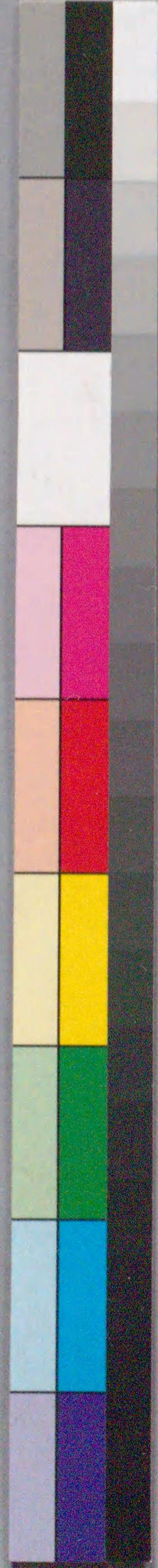
一晴平のみ
まの口のあつち
一あつちの右のを
左のあつちのうで
のんぐ上人のせま
まのあつちのう
一あつちのあつち
のあつち
さつち



はのうのまひまひ
まひまひまひ
まひまひまひ

一あつちのあつち
よんてひまひ
まひまひまひ
まひまひまひ
まひまひまひ
まひまひまひ







此の
 女は

此の
 男は

此の
 女は

此の
 男は



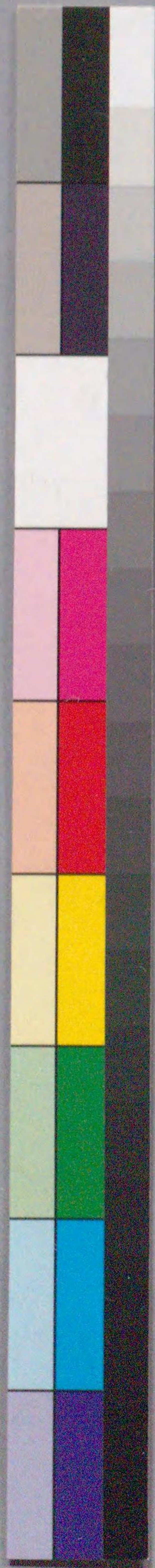
此の
 男は

此の
 男は



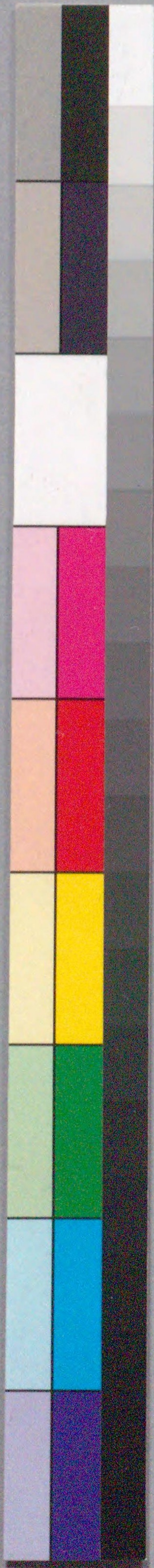






国立国会図書館 甘哉名利研：3巻 207-470

ガラス使用



国立国会図書館 甘哉名利研：3巻 207-470



ガラス使用

